

視聴覚教育時報

No.749 2025 年 5 月号

contents

- ▽令和 7 年度 「第 1 回全視連常任理事会」を文書により実施
- ▽令和 7 年度から教材の廃棄・移管届けの廃止について
- ▽令和 7 年度 全視連「視聴覚教育功労者表彰」の推薦について
- ▽令和 7 年度 専門委員について
- ▽講師派遣事業
 - 令和 6 年度 地域視聴覚教育協議会選任職員研修会（岩手県）
- ▽えすけーぶ

▽令和 7 年度 「第 1 回全視連常任理事会」を文書により実施

全視連の第 1 回常任理事会が去る 4 月 28 日付けの文書により実施されました。昨年同様に文書による承認に代えることといたしました。議案については 5 月 12 日を期限として審議・回答をいただき、すべての常任理事の方々より承認いただきました。審議いただいた議案は下記の通りです。

- ・第 1 号議案 令和 6 年度事業報告書（案）
- ・第 2 号議案 令和 6 年度収支決算書（案）

- ・第 3 号議案 令和 7 年度末をもって当視連の解散について
- ・第 4 号議案 令和 7 年度事業計画書（案）
- ・第 5 号議案 令和 7 年度収支予算書（案）

なお、これらの議案については、決算報告の監査を経て、5 月 23 日付け文書により各加盟団体の理事宛に第 1 回文書理事会として 6 月 13 日を期限に提出いたしました。

▽令和 7 年度から教材の廃棄・移管届けの廃止について

昭和 61 年に、視聴覚教材の権利者団体（公益社団法人映像文化製作社連盟：以下映文連）と全視連が「映画の著作物の複製物の貸与に係わる補償金の扱いについて」の覚書きを取り交わし、その後の双方の話し合いにおいて、視聴覚ライブラリーが保有する視聴覚教材を移管

または廃棄する場合は、平成 23 年度以降より権利者団体に通知することとなり、昨年度まで 14 年間続けてきました。

去る 4 月 8 日、映文連から会員数や視聴覚教材数の減少により、令和 7 年度から廃棄・移管

届けについては廃止するとの連絡を受けました。よって今後、当連盟に提出いただく必要は

なくなりましたので、関係視聴覚センター・ライブラリーへの周知をお願いいたします。

▽令和7年度 全視連「視聴覚教育功労者表彰」の推薦について

例年実施している全視連の「視聴覚教育功労者表彰」制度も本年度で第28回を数えることとなりました。4月22日付けの文書により、各加盟団体長宛および各都道府県・指定都市教育委員会教育長宛に依頼文を発送しました。

推薦にあたっては「表彰要項」「推薦要項」を参照の上、7月14日（月）までに「様式1～3」に必要事項を記入の上、本連盟宛で推薦いただくこととなっております（各種データはHPよりダウンロード可）。

<http://www.zenshi.jp/korosha.html>

＜表彰の基準＞

(1) 次の各号いずれかに該当すること。

- ・ 多年にわたり、社会教育における地域の視聴覚教育実践、普及または研究開発に努力し、視聴覚教育の振興に多大な貢献をした者
- ・ 全国または地域の社会教育における視聴覚教育関係団体において、その活動の推進、運営の改善に大きく貢献をした者

(2) 社会教育における視聴覚教育の振興に携わった年数が通算10年以上あること。

(3) 年齢が50歳以上の者であること。

＜候補者推薦対象の「業務」、「活動」＞

- ① 視聴覚教育行政の専門業務
- ② 視聴覚センター・ライブラリーまたは相当

施設の運営

③ 視聴覚教育関係施設における資料制作や収集、保管、調査研究、展示、教育活動等

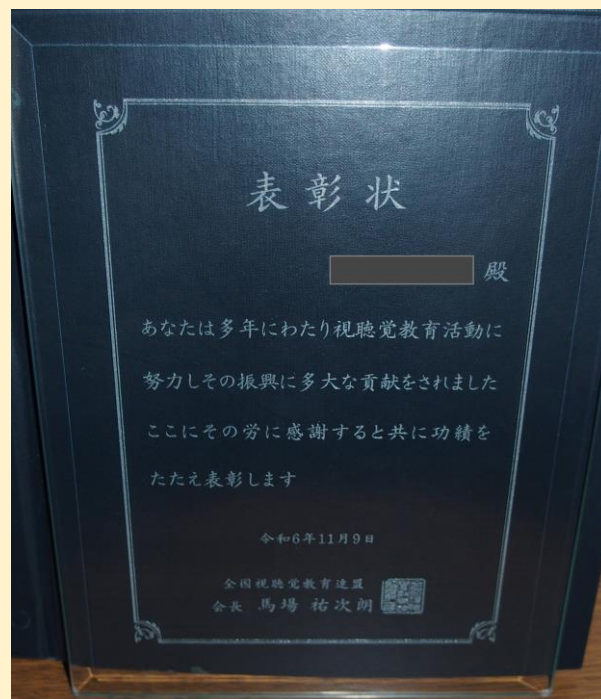
④ 視聴覚教育に関する意識の高揚、啓発及び活動の推進

⑤ 視聴覚活動団体の運営と活動の推進

⑥ 社会教育活動におけるボランティアの育成またはボランティア活動の推進

＜表彰について＞

視聴覚教育総合全国大会の時期に合わせて行う。今年度の大会は令和7年11月28日（金）・29日（土）に開催され、同大会の2日目の29日（土）にオンラインで開催の全体会にて各団体ごとに功労者の紹介を行う予定。



▽令和7年度 専門委員について

全視連の事業を協力・推進いただく専門委員制度は、平成13年度から設けたもので、全国をブロック別に分け委員を選出し、今年度は下記の8名の方々に就任いただきました。

＜専門委員長＞

▽村上長彦（全国視聴覚教育連盟専門委員長）

＜副専門委員長＞

▽丸山裕輔（新潟県五泉市立村松小学校教諭

＜専門委員＞

▽高橋敏幸（茨城県視聴覚教育振興会副会長）

▽古川拓也（千葉県総合教育センター）

▽村上崇人（岩手県教育委員会事務局盛岡教育事務所）

▽塩野谷直充（埼玉県春日部市視聴覚センター）

▽梁木直人（栃木県総合教育センター）

▽棚橋直人（兵庫県丹波篠山市視聴覚ライブラリー）

（アンダーライン新規就任）

▽講師派遣事業

令和6年度 地域視聴覚教育協議会選任職員研修会（岩手県）

令和6年度の全視連の講師派遣事業を活用して、コガタ社代表の中川 望氏の講演・演習が標記研修会において実施されました。

1. 主催

岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会

2. 期日

令和6年11月26日（火）13:15～16:00

3. 会場

盛岡地区合同庁舎8階・講堂A

4. 参加者

岩手県内各地域視聴覚教育協議会・ライブラリーの専任職員、映写ボランティア等、教育事務所社会教育主事24名、事務局2名

5. 講師・テーマ

コガタ社代表 中川 望氏、テーマ「16ミリ映写機及び16ミリフィルムのメンテナンス」

6. 実施内容

- ・映写機に使われるランプや消耗品について
- ・映写機の日常の点検について
- ・ピント合わせの不具合に対する対応

7. 所感

情報交流会では、各ライブラリーの現状と課題について小グループに分かれて情報を共有した。特にDVD教材の活用や16mm映写機



との関連付けについて課題が出された。

演習では、16ミリ映写機のメンテナンスについて、希望した内容を取り上げていただきながら分かりやすく講義いただいた。実際に10台の映写機を準備し、日常の手入れの仕方や、不具合に対する診断等実演を交えながら教えていただいた。

県内でメンテナンスや修理をすることができるよういないため、日常的に手入れをするのはもちろん、不具合の度合いについて自分たちで診断し、必要に応じて修理依頼をするという流れや目安を確認することができたことは有意義だった。アンケートを見ると満足度が高く充実した研修会となった。

▽えすけーぷ

この世には、鉄道マニア、別名「鉄オタ」がたくさんいます。そして一口に鉄道マニアといっても、こだわりの範囲によって鉄道写真を撮影する「撮り鉄」、鉄道に乗車することを楽しむ「乗り鉄」、鉄道や駅の音を録音して楽しむ「音鉄」、駅を楽しむ「駅鉄」、駅弁を楽しむ「駅弁鉄」など様々です。

私は乗ることを楽しむ「乗り鉄」と、各鉄道路線の起点にある〇キロポスト（ここから各路線の距離が計算されて1キロ単位のキロポストや補助的な0.1キロ単位のキロポストが置かれていきます）を撮影する「〇キロ鉄」を楽しんでいますが、被災して運休している九州の肥薩線の八代～吉松の区間と、運休中の人吉から延びているくま川鉄道以外は全て乗車したため、現在乗り鉄はお休みしています。

さて、鉄道には名称に本線がつく主要な路線とそこから分かれる支線とがあり、単線と複線、電化と非電化など、様々な違いがあります。単線が複線になり列車の本数が増えたり、非電化が電化されることがその路線の重要度を図る指標のようにとらえられてきました。

しかし、2024年7月の豪雨で不通になっていたJR奥羽本線の山形・秋田県境部にあたる新庄～院内間の運転が2025年4月25日に再開された際に、電化設備の機能を停止し、気動車で運行を始めたという、「非電化化」しての運行再開ということが注目を集めました。

た。

先行例としてはJR磐越西線の郡山～喜多方間があり、1967年7月に電化され盛大に開通式が行われたものの、2022年3月に会津若松～喜多方間はディーゼル車だけの運行となり、電化区間でありながら電車が走らない状況となって、市議会などで問題視されていました。

「非電化化」に関してJR東日本は、倒木や積雪で架線が切れるなどの障害を回避でき、災害からの早期復旧が可能となると強調しているそうです。一見後退するような変化の裏には、経費の節減ということもあるのでしょうか。従来の非電化区間のディーゼル車による運行とは違う、エンジンで発電してモーターを動かして走る「ハイブリット車両」の開発という理由もあるのではないのでしょうか。すでに全国で新しいハイブリット車両が投入され、非電化区間を従来より早く快適に運行できる例が出てきています。

このような取り組みから、従来の発想とは違う取り組みによって作り出されたものによって、従来では「負」として受け止められていたものの「価値」が見いだされていくのではないかということを感じました。

視聴覚センター・ライブラリーが置かれている状況は厳しいものがありますが、その場その場の状況に応じた新たな発想で新たな取り組みがなされることを期待したいものです。（T. M）

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PF ビル

TEL : 03-3431-2186 / Fax : 03-3431-2192

HP : <http://www.zenshi.jp/>

Mail : info@zenshi.jp

東映 教育ソフト作品紹介

中学校高等学校防犯・道徳

ティーンのためのSNS教室 ～いつも心に情報モラルを～

最新作

1巻 誹謗中傷・出会いの危険

2巻 迷惑動画・闇バイト

1巻で「誹謗中傷」「SNSでの出会いの危険」、2巻で「迷惑動画」「闇バイト」という計4つのテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。トラブルに巻き込まれる生徒たちのドラマの事例から、どのようにしてトラブルを避けるのか考えさせ、生徒が情報モラルを身につけることをねらいとします。(1巻 約24分 2巻 約24分)

監修：一般社団法人スクールポリス理事 佐々木成三

日本語字幕版付き

各巻 77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

2巻セット価格 143,000円(税込)
2巻セット学校特別価格 71,500円(税込)



道徳・平和教育

おばあちゃんは認知症 ～お兄ちゃんからの手紙～

最新作

認知症のおばあちゃん、部活動も勉強も上手いかず自分を見失っていた中学生の男の子とその家族、先の戦争で若くして亡くなったおばあちゃんの兄たちが登場する物語を通して、認知症の人との接し方・相手を思いやることの大切さ・命と平和の尊さを伝えます。(約15分)



日本語字幕・副音声版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

中学校道徳

国際理解・国際貢献を考える ～台湾との絆～

★令和6年度優秀映像教材選奨 優秀作品賞

東日本大震災での支援や、新型コロナウイルスへの対策など、日本と台湾は困った時に協力し合ってきました。このような日本と台湾の絆を関係者のインタビューを交えて紹介し、国際理解・国際貢献について考えていきます。(約14分)



日本語字幕版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

小学校道徳・特別活動・防犯

小学生の情報モラル教室 スマホを正しく活用しよう!

1巻 学ぼう! スマホのトラブルを防ぐマナーとルール

★令和6年度優秀映像教材選奨 最優秀作品賞(文部科学大臣賞)

2巻 考えよう! スマホを使った上手なコミュニケーション

★令和6年度優秀映像教材選奨 優秀作品賞

1巻で「スマホと個人情報の守り方」「ネットの課金トラブル」「スマホ依存症」、2巻で「ネットいじめ」「SNSでの出会い」のテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。子供たちに、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考えさせ、トラブルにつながる行動の自覚を促し、正しい判断力が育成されることを狙いとします。(1巻 約24分 2巻 約23分)

監修：常葉大学教育学部准教授 酒井郷平

各巻 77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

2巻セット価格 143,000円(税込)
2巻セット学校特別価格 71,500円(税込)



●お問い合わせ・チラシ請求は



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
TEL.03-3535-3631 FAX.03-3535-3632

予告編配信

<https://www.toei.co.jp/entertainment/education/index.html>



他にも幅広い商品ラインナップを取り揃えております!



ドラマスタ
DRAMATIC STUDY

心に残る学びを。東映が贈る研修動画



<http://www.toei.co.jp/edu/>